将兵は御教威の下歐大な

ものはないのである、恋らの頭上であの厳密をいよいよ新にせざる

の信然領域してをつた。5条約)整然でよう、敦朝戦は別しかしながらかくの如。を加へるに至つた、大東領におけ、反政の類別を示すに、「大東領におけ、「大東領別を示すに」、「東京の対別を示すに、「東京の場合に

十二目夜日本軍夜間爆撃機隊がガダルカナ ル島米軍基地を爆撃した闘士五日公表した 【プエノスアイレス十五日問盟】ワシントン來管―米國海軍衛は

少節を説問いたし、親しく現地の 私は最近中感眩図、瀬淵國および 最にして自境的なる協力は日に

戰

F

0

處

衆

首相堂々大東亞の新政策闡明

戦力増强に施策集中

屈服の手段を推進

日本の大東部院野の殿砂なして東田本の大東部院野なくして東田の解放なく新しき大東語の建設された。

るのである。

転國といたしまして

必要と考へてあるのである、今そ の主要なるものにつき政府の所信

トラ、ジャワ、ボルネオ、ゼレベ 燃々として協力の既を増大しつゝ

は諸國家諸民族の信倚と協力に限

はこの方針に則り 終始一 質して

「日に及んでゐるのである、大東

図でその内部は公開の内部は硬幣部で、計三億一年三百餘郡四、前三億一年三百餘郡四、前年度調整、前三億一年三百餘郡四、前年度調整の境加三億回等となって、上のる、像入追加額は延時部六億二十餘場と

高部 企選整備 は金融の回収 でに対する組み構造、情報を特別 (全) でに対する金 純明 (全) を (1) を (

中すまでもなく大東亞を米英の多 この確信を強くいたしたのである

を前庭回成立金額に加入れば昭和ともに大億二千億萬回式立金額は被入後出した金額は被入後出した金額は被入後出した金額は被入後出した金額は被入後出した。

一の桎梏より永久に解放しその本

する確信が必用として起りつゝあー

共榮圏の各國協

同目的達成心邁進

た比周民衆は大東西戦争勃後以來 下に楽しく帰立の幻影を逐うてゐる、かつて米國の不信なる支配の とすることをこゝに中外に闡明す

養成してゐるが、帝國は共同防傷

現を預せんとするものであるなかんづくジャワについてはその民世にかんがみ民衆の異認にの民世にかんがみ民衆の異認に

恥ぢない諸陰無頼なる行動に対

て 「環代なく期ら他國の種類において」 関代なく期ら他國の意識文配を購入、その間何らの

後九時八分秘密町を解ぎ、小川委一 した言語申入れがあった。旨を宣 助計算、外変政策などにつき説明 より『政府より駆出質において物

して八時二分秘密重認に入る、午

通り可決同十分微智した 的識を省略して全會一致政府原案

は確何に提出した企成要解、登職が公請確ならびに応味を確負の信仰を異など質面緊急の重要問題につき政府の所信を明明し、これら値に表明し続随は大東亜土酸の民とともに米契の非要を参解し戦難完後に要領すんと戦処さる患寒を参鑑し、さらに内皮問題に関してして、東明度などの動跡とこれに対する影響の一般と見識化された原理の金額を簡明率、質問の政治ともに米契の財政との動跡とした、明ら結構は、大東部蔵等の訴訟と規範に対して、東部度はの金額を簡明率、 ではじめとして内治外政の関節にわたり必勝の確信をもつて競手大東亜酸量を限が扱かんと、する浩園の決定主域めて挙載に内外に の施策を築げて最力均耐勝たんがための目的に集中複流せんとする不動の決定を要明した。しかして、首相演説は大東部建設方策の闡明 東京総治】東廉首相は第八十二四時間密の開命

萬難排

ンハスツ是ノ如キヲ得ムヤーンハスリ是ノ如キヲ得ムヤーの「強」「類ルニ非ラス」

心雨方面の協力まことに大なるも るれ國民上下一致帝國に對する物 で視るに親邦をもつてし

畏くも

「小腿で今下時間削二腿

俺に限へその優全なる影選に飲々といたしましてはます~~その信

刀をいたさんとしてゐるのである

のらゆる医療を克服して成果を加 とともにひたすら洋鉱圏南の一路 私はこっに諸君とともに山本元郎 あればこそ大東鹿鼠等は必ず勝つ 題土の忠郷に遡へ 打撃を加へんとしてゐる、かくし一展開し、含らばます(一深刻なる の各方面にわたり場面なる作献を観境方面においてはたまた太平洋

以上の時限に対域しる法別である。
なくいよく、必妨の確信の下に
なくいよく、必妨の確信の下に

現下大東配の動向な大概まいたレーカイを放ってある。

統の関氏性の原四を設揮するの秋

勝へス臣等漢テル洵ニ感激ニ

規酬を実かしむる数多出項語

てゐる、殊に山本聯合監

必勝態勢嚴然たり

(東京電路) 影瞳院では十六日本 電離における壁線両相の観況報告 明全會一致をもつて可決、これに 軍を代表して興難を述べるが、決

衆院感謝決議案を可決

なご考え信徳東して販力の の國を駆けて斯器興起政師の の國を駆けて斯器興起政師の

「東京電話」資旗院の随海軍に胸

海相は十六日の黄衆院本自議席 【與京館話】東條鐵鐵陸相、網田 貴院感謝決議

る後援に感謝國民の熱烈な

陸海兩相挨拶

職職であらうか。而も進んでマ うすべく配意を新たにしてゐるの との でない この 原大なる 智勢下において 一酸 かる 今や内外の情勢、海に重大である

る、この秋に営り政府は一個國民

し一日も早く盛聞を完了し遊林節は歴史し館既ともに民は十分政府の窓のある所を諒となきものは悉くこれ

また一正)同買医繊細より提案理由を認

全級の協力を絶對必要とする、

所各自の能力を適燃なく破郷し得

る如く粉板的に協力せられんこと

ひを必ず質問に移さんことを期す の開源に挺身しこの新たにせる整 する響ひを新たにしてゐるのであ

多次とる国を本盛に安明したの ある。その他盟邦瀬洲國との 職のこの段階を勇猛果敢に頭り野を確立し、以て決敗につぐ決

基く阿爾提携の緊密を切除され 随る明瞭具体のものとなった。 災害の密々学からんことを整ひ 加して一方首相は歐洲に於てに 帝國の大泉証建設の基本方策は たのである。脳も数に至って役

諸民族に、絶大の数葛と希望を の新施策は、恐らく皆該諸國家 たことゝ信ずる。特に簡相

ライ、スマトラ、ジャワ、 ポルネ

し、際國に就ては軍事、經濟、交

売しく

が開き無するに

地へない。

と騒気勝当の馬氏を御波動から

くし、今こそ一般感覚の私に

直面してゐる。今次第八十二四

場の心もで各々その職域に整 おくべき。而してこの監督に應 いかで配慮を安んじ季らずして配代に生を享くる一個の憲三

ふる國民の念はたべー

一角脱濱幅窓を其ノ成武ヲ

然るに、大東西版等の削金にはざる所である。

は増かないやうな気候に売ら済は増かないやうな気候に心底からゆすぶらずに、以を頭に心底からゆすぶらずに

政道説は、正にこの決戦段階に

略必勝の態勢は日に日に

る職を解除しつくるるのであっる皇軍は、萬機を挑し強るとこ

の下、大東亜における常國の瓜

ちてゐるものであつた。

先つ節烈烈烈なる大東亞威争の

規段階から脱さ起し、大東亞亞

の激淡なる言語があるのである

ものであって、こゝにこそ彼時 服勢は正に米英の死命を削する

つ、この懐値なる現實に立ち切 念を固め、殖國の精神に燃えつ る土飲田衆の雪しく威動指く危

宮秀八十二殿時後會開院式に親 駅頭必断の國内側駅を確立すべ

軸に基づく大原頭威争の現政階 く追腹しつへあるを御療情あら

> 決意はこの難局に處して年国た い。いふまでもなく一個國民の が要認されたことにほかならな

相の演説

に深き大御心を無れるせ給ふか

れらの全身全骸は窓々必勝の信

説の飲たる決厳職會は開食され

劈頭に於ける果條首相の施

首相も説ける如く今や御稷伝かを認識せしめたであらう。

気器をめぐらして、我に一

鑑せしめる用蔵あることを表明

加へ、厥國の協力體制を一

で、手段を選ばず、あらゆる

政の無配を見せつゝある既であ

挙ひにして神のみいくさき

化の各方面に亘り

大東龍共衆國は勿顧全世界に

駅ぐも 天島際下には十六日

說社

優渥なる勅語を拜す

必勝不敗の國内態勢の確立

慈國策の諸案に對して和衷審議

協数の傾命を果さねばなら

示したのである。その影酔の堂

距の平和を提乳する者の息の根

の民衆が火の玉となって、

形の所信を大騰率直に中外に関

師頭に立つ者の皆然の態度とは

あるから、その物勢力の全力をあるから、その物勢力の全力を

は優邦中華民國に対しては、

夫の民度に限じてこれまた本年

中には原住民たるインドネシャ

紫の概力を記集して、観力の形能ふに今決取職権の眼目は國 勝利を確信されたのである。

をとい、また版時間民生活の確保 とい、また版時間の民生活の確保 とい、またの時に努力してゐるが 関係認識医产権特別につきこの 、またら一般の努力を何许せられ たい。またの一般の第一次の一般の思想に対するの場的に対するの場合に 、またの一般の民は肝臓の場所。

して、以て東西福軸國の最後の

瞬的増殖に備へ、必勝不敗の解

民衆の政治参與に関する措置を

院における東條首相の施政演説

(民選)

要するに寅の目的はこうにある 切らんとするにある。内政問題 等いづれも重大ならぬはないが としての企業整備食糧増産問題

なる協力をなす旨を包明した。 又ピルマに就てはその孤立の 行い、同國民の發展のために新 日も早からんことを展開し、 一段の協力さ 常然の負職を対策に示すもので」の要指のフレジとくに表明するものためまた大東部のためはたまってある。この中国の規範は二の中国の規範は一つ、一のを必ずた大東部のためはたまってある。この状に、一般は人様のためまたとに観視して、一般は人様のためまたとに観視した。である。この状に、一部では、一大性質を増加した。では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性では、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一大性には、一、一、一、一、一、一、 職が正生語と行動を集にするこ 職所域、探験英、要子管など、 湯筆をはじめとして護多の人。 湯筆をはじめとして護多の人。 出 面にわたりさらに一般の協力をいる。
國との提携を今後いよく一般の協力をいる。
國との提携を今後いよく一般にし

の塔に安んぜしむるわが帝國の大の所を得しめ、兆民をして悉くて

に か、印度の自由と製処との割されー 変現せられ、米英螺力は軽気でも 待 で現せられ、米英螺力は軽気でも 待

待する

つその一日も選がならんことを期

大東亞に着

々と具現

たる決意をもつてゐる、しかして一る日の鄧からざることを信じ、

比略はバルガス長官以下要略の人 理想は指々として大東龍の天地に

| 増取に儲める東語の民衆に確かし 具現せられ、多年米英の他くな岩

共義を頂いて全野兵は威雅興起 に重大を加いるこの際只今の河 でます苛烈なる秋軍の電路合ら 盟邦との

しは天人ともに許さざる所で

午後四時二十一分四周、 時頭頭條

職費となる 生命保険

を過ばず到る所平和を機能し随時

欧洲語風の雄節なる威争遂行に對一に立て、しかも脱び一度利あらざ 接の参加を選げて他國をその矢面他國を誘ってともに戦かや自ら直 き込まんと紅飛してゐる、彼らの に鍋鼠を減大し中立國を職火に幣 れば心を弊機の如く捨てて願みず

通し 東藤 藤 田 市 高 田 彦 田 乃 武 祝祝 吉 か が 現 が 一 節相 登 地 賞 族 院 に わけ る と 同 様 の す中 一 節相 登 地 賞 族 院 に わけ る と 同 様 の す 中 一 節相 登 地 賞 族 院 に わけ る と 同 様 の 近、区関する法律案(政府提出)
は、所、無台議員などの任期にはより深盛なる勘察を表明づいでし 熊攝歴相、蘭田液相の販売報告が

凝索を可決、職長の疑惑によ

欠幣足に對する感謝撤弔の耐念を い橋員起立、全面一致をもつて決

い、これに對し東係陸相、頓田海

治に對する敬事決議案を上程一、陸海軍に對する腕領並に職務 四田當也氏(茨城)趣言総明を行

貯蓄となり

全力を整して一路征威必勝に突逃である、威場の將兵の心を心とし 政府陣頭に挺身せん | 接頭は 三野中城正法戦災 (陸が近次中) (安族内和より最宏地は ご野中城正法戦災 (陸が近次中) (安族内和より最宏地的の説明を行

感逝せんことを楽してゐる 人に徳川順公

群和亚铁是上型 京城府本町二

甚

表して跳窓を逃べ同三時五十分放り決勝に對しそれ (・ 陸海軍を代

Ø.

【東京電路】十六日の衆議院地方 原案通り可決 地方選舉委員會 豫定

院に強附した

● ◆八木朔一氏(京城中央波湾局長) 十六日新任廃汾のため來証 十六日新任廃汾のため來証 ◆年田辞信氏(同茂楽館長)同上 ◆四本計三氏(開降頻輸組長)十七日朔川に田張二十一日顛城の

関する法律案(同)

本日の両院

り全専一致可決、七時廿二分別宮して順名に採決に入り政府原案通

一、開館においる米級の生活を確し、開館においる米級の生活を確認の関連をおよび企業の質問と要する際国の財源に充っる米級の生活を確 かくて襲煙を終了一旦休息、専門

感謝における米級の生態を確

一部において理解せる常年委員の年後二時世二分再開、休憩中各年後二時世二分再開、休憩中各

項を絡りてれを決定、同冊八分報性必り次いで職最の追溯的導

選権定、次いで常任委員の選組を 職長職長馬に若き全院委員長の選 久懈島のため強内につき内ケ綱副

を行び、韓山流三氏(石川)皆

期延長否かの比較は根本の狙び他の国の管理とが改選計が、任

一、朝鮮(食地管理・特別智計法案)

よりそれらく経案理由を説明、委

過ならびに結果を報告、審管文成

分三度閉愈、岡田原長駒語牽答

同二上一分休憩、午後一時廿 がい 高場地立してこれを可

東京 語・改命のよう時とでき マー語とは戦略の脳和およう原脈和 (高上)

糧管理特別會計法案 企業整備措置法

共に委員會附託こなる

を嗣ずる必要は

況本法案の對象などにつ言語疑め

1、関各特別質計像人級出流算追 加特第一號 2. 強質外頭師の負債になるへき 取得の場合になるへき

「景東極語」十六日の黎原隆海軍

改正委員會

案理由の説明を行ひ、小川委員長

質各案に對し質屋城相より提

会計法の主奏資産は午後七部問題 金を対意での世名 他木大線治主・川福度・10 起条理由 変勢対意での地名 のようともでする。

相より外交政策につき短明を応見合の政治をにおいては鈴木住民会の政治をにおいては鈴木住民 安藤内相 比較正説別辺と認められる八月中旬かっこことにならないか、またれるのでは長する客へがあるか

「東京吃店」十六日の紫藤院像は

衆院豫算總會

員長より

異異、理事の互選を行って直ちに

旨を逃べ岡九時十二分敬密した取した

陸海軍會計法

1、昭和十八年度被入该出版领贷休息年後七時四十八分所见

北太平洋方面

地周邊の空の譲りを固めて敵の印度洋方面においては引続を占

の指揮下に比烈なる最後の突撃を に守備部隊は勇猛なる山崎部隊長闘し大いに敵を震骸せしめたが多

印度洋方面

を許さいるとくもに陸軍部隊

南太平洋方面

昨年六月陸海軍部隊がアリコー ヤン諸島を奇製占領したことは高

> 面に移行して猛攻を加へ該方面の に至り敵は攻撃軍艦を南方中央正

アツツ島戦

强く述べると同時に類数挽回を企協し成力の均弱に全力を依在し

戦況報告をする嶋田海相 五千二百餘機を撃墜

た監船はレンネル局神海戦を加へは合計一千三百六十一機、戦池し

淡上約二百五十機、地上部歐(

全世界を驚動

ツ島将兵の闘魂

一酸時に任してある現地の医療な んて敵の上陸に省りては種々

ピルマ方面の敵は、総反攻の一環

ビルマ方面

として、宝づアキヤブ寮回を呼続

南方の軍政

南方軍政は明經之概ね職調なる進

ロモン方面

変更へて魔害おはす師に 会みの 日南風や松こと(く根上りに の勇士勝問、産業戦士勝安公演

一の衝力を逆用してその戦力を破滅一本年初選集をもと帝国の新たなる

めたるのみならず現地最高指揮官

敵、空襲を企

をの不動態制製成上露々緊急となっ

地域代表補充

【東京電話】大阪養養會では來す

十五日その国各會議員知通牒を設

十島二千五百萬民の生活安定と

面長制實施

邑面行政の刷新强化に乗出す

方針なので會議員離計は四名波

日を押して変施する

事務が益々後期軍大となるに連れ

本社寄託献金 總計百十五萬二千二

伐、山西、河南省方 **)推獎 新春里** 三國商會株式 内鮮文人による 大原源原語

配時色で彩られた全獣の姿を見て | 事が廃ってをり、それだけ仕事の 交流の強化

低ツとして、上衣を聞いた。

半島の文人に及ぼした治果にもな

を臨洲変遷でその名をよく知られ てゐる原際政氏は、十八日(金) から廿四日まで丁字屋四階兼領で を田里で過し、豊富に、個展に、 ロンに活躍して、日本登選より

害にヘミストロンは◆器



空監視所へ二千國の献金を行ひ、提議會には一萬七百國、東京府防 日端上映

十七日封切 、目下の急務たる 建設戦

鴛牌醫

京日文化映画劇場

鏡店

行くべきほどのものを要しない

しして戦闘の尨大を要求する、

るにつれて所謂『感力蔵』を構成」から更に圏と圏との戦闘に遠展す

てする高田國防闘家確立を現場 に行はれる、しかもこの場合戦闘して来たのである。軍はさる取 は郷國の領土内に於て行はれるかのは「國防」の名に於て既に行。少なくとも自國領土外に於て兵戦闘はれて承定

近代戦こそ總力戦

は融力酸は第一次世界大概と共に

園であつた。 服争が帝國の勝利の

百九十八圆、陇出二〇二千五十一 つたといへよう、即ち明治卅八年

の配手をみるなら解釋に基いて過去

日露役當時の熾烈な敵愾心

は部署もる

[2]

化された『國防國家』が現出し

|それでもなほかつ日製版争を完全||て當時の年度総豫領を勘案するな

人馬と人馬、部落と部落

あらうが、一城と一城との闘争 しての 踏要案を備へて 來るし

てその欧既を勝利へ導くため

がくて 一度国際和告され、一

化、接収が行はれ、これに依行して宣言・地域の攻略占領域るや直ちに宣言・地域の攻略占領域るや直ちに宣言・

純性との爲に今日私達が豫想する

その性格を凝くして來をといく

に移向する、非殿闘員は銃後にあ し國内もまた瞬時にして職時監御 十二億目標は内地の脳障験より二億多いが変

形密が如何にこの一 、 の結果を左右させるか

書が、中等學校七十八校、約二萬

海軍と激闘精神』と関する演選

學徒二萬 火と燃ゆ決意

海軍魂

でといろかせて腕々長蛇の列を

に強へて米炭の残の胸層心を暗響に隙倒する 八僅か五十圓だ 「十二億」内地思へば恥かし

に火蓋を切つたが、國民總力聯盟波田總長は

一般的密頭関連動は撃ちてレ止まむ半

別り、二千五百萬貯蓄決戦への級勝砲を促し

・鱗は二個回少い』と、貯蓄率公に現したこれ

「地際し、厳能を固め、之に偲ず」ようて敷を動かの彼方に散争し得。彼に工順な発日を急して居るため、半島二千五百萬同胞諸紅、人はないだらうか、御夏寅の赤け「るが、子島一千五百萬同胞諸紅、人はないだらうか、御夏寅の赤け「る成昭郎は茶よりのこと、敷飛行・ストは、東京のようで、はないだららか、御夏寅の赤け「あり郷田は来しり、日夜順はれつ)も 架な気持で構へてゐる人がまだま | 図海空の勝利の快報が『職へは| 造って居ることを我々に示して居 打ち立てる一大決職がひしひしと しかして今こそこの不動の勝利を

りは成の大成果は今更これに申す

楽上り人類の数米英を繋り去っ「今」をつてよるままっている。事質をなんと見られるだらうか「観き上げる力を保たねばならね、

銃後の國民も一人残らずがこ

に劣らない、 勝る問題は只国を一里に、 まて、 まし 双 皆異口同音に 『傷では決して敵一比較して見ても顧問職よりも一 五百萬を算へる朝鮮半尉に於てそ

りも少くいことは、我々半島在に の貯蓄機任目標額が内地の一颗と

席の眼はハンカチに蔽はれてゐを 解製のうめき繋がもれ、 一瞬婦 聴席からは不屈の日本魂に對する

を納返し、蘇々たる武 ・・南太平洋に

で激威する星里將兵が間ばれる ナの陥り物が届けられる こんど京城府民へ南方からパナ

して野菜の総給と同じ方法で配 その間、町會指定小曹人を

日本一党備



しては臨時に小資業者が指定され、指定商のない新設町會に数



本部、東京事務所の風景を読いて

への敬華、アツツ島二千餘の忠魂

全國民熟館の狸に起ち上

みで一日中事務所に閉ぢ載つて所

を器でてゐる

を以て一億一心完勝への大進記離

閣僚一同火の玉となっ

も所負より早く事務所に現れて一族院本會議に打ち揃うて出席既にところへ更に拍車を加へ七日朝一合を遂げ巡聯全くなつて午後の貴

びの種に歌歌歌の庭非常民趣師を「てゐる朝鏡歌啓所議會對叛の參認。」「東京置話」首烈なる決蔵の維明「して真要法案能に簽寫案を提出し

に十四日、十五日は鞠手百舞の陣頭指揮に営り運絡、交渉、報告

對議

會に戦ふ總監

張切る本府東京事務所を覗く

こそお茶を吞む患もない意間 決戦半島の爲に夜おそくまでそれ

らんぐなどの配当志願など額出し

米京進軍尚

大阪・食べ・好流

軍教用品

一式と木銃

うの低時氣分、決敗氣分になり切に半島二千五百萬は、まだほんた **地無比なる皇軍の勇職奮闘によ**

日の決閣は、國民の総力戰であつ て第一線将兵だけの受持ちではな 今となっては最早占めいた管ひ現

理窟は拔きだ

段階下の國民として寧ろ不名場と ばならぬといふことは、この決戦 その國はしまひには滅びる。こち『鼠争が築に勝つてばかりゐては

んがためである、然し冷酷に考へ 二億四の貯蓄を一日も早く達成せ

いふべきではないか、理にも

もつて、質味し、灼熱の南方爾 を想ふ海軍當局の親心 動を打倒てながら銃後

昭和十八年六月十五日 西鮮重工業株式會計



正に火の玉議會 以治培許 亦儿モン創 純粋強力 一餘名に上り、半島の底力を加致 映畫と愛國歌謠

傍瞟の盟邦使臣ら讃嘆の聲 続け、アツツの勇士に避けと東條して喰ひついてゐる、山本元帥に しめつく密議に恣頭してあるその ただあの施政演説を嚙み 館所徴、十七日同西橋町放逸所削條する、十六日夜七時半唐人皇後 けてゐるが明經き左記の場所で開 國歌総監督の曾』は毎回好評を経 自轉車ドロ龍山署へ 八日同龍江縣保施

議館は夜に入って漸く白熱した戦

簡相が叫ん

大概権を下すべく玉倅』ーと叫ん切つた上『隆る全員際に最後の一 國民の強闘の結晶である、東係首 山回甲(雪川)は去る五月廿五日午前 上道町杉本平吉さん所有の自動車 九時世分ごろ淡江道二郎便局 **尿酸道坡州郡生れ孔源外里冊七夏** 台を盗んだほか、肝内の銀行の

爾城網製作所 成巴茶學

東の前高で 電大器 調協力

が移轉通知

鐘淵紡績京城府中區南大 株式會社朝鮮出張所門通一ノニ〇の解算監督

民奉仕治療

鍼灸按師 前十時ヨリ午後三時迄

高木化學製藥所 告

では 関係を含有せるの分で大部分 四の外には 相写と要が無かっ で大部分

世受付を開始以來 がまこそわれ

藻土

F

参山村祭町 - ノ T 商

お替・釜山二・ H

内各密察場では去る十日から志願

上つた半局青年の熟誠に對し、

らい病新治療削

場戰も上机 筆年萬宣 堂

場所に起ちあがった中央法督 道場落成記念試合

下殊に海軍志願兵制實施の生とが即ち必勝への途である』 し、健民がお園のため増産す

各駐在所では堅殿會を各部落毎に

火の玉と燃える

昨年九月十八日に制定され工場、

に限って去る二月十一日の紀元

に依つて一層鰕脈化さずべく管下

【成安】 醫察署圖月署長以下全職

海兵志願續出

| | 「東京館話】生産増殖に延身する | て歌聞されてゐるといる立場から | 「東京館話】生産増殖に延身する | て歌聞されてゐるといる立場から お百姓さんにも、金鵄 勤勞顯功章の授與、全産業陣へ など全産業の分野にまで授與の配

道場で果行するが同時に記念薬道 試合も行ふ 定時總會藥業奉公會

まで火花のやうな猛魔を避けた に期待しつゝ初夏の夜を深更近 がじてやりとげる、議会は

る、然し細性がなんだ。

別志願兵制發表に澎湃として強 /海は男の征くところ

《と海軍特

・ 血書して志願 水漬く屍の熱意





般家庭の多くが決成生活に被せ 近頃推口蜀司法係と類

を如實に物語つてゐるもので龍山

防心得を配布

響さが本格的になるにつれて 強物チブスは 異常の要な

等の 吸加虫類の 繋がによって破験跳で、この破影チフスは風や蚤 瓜虫の騒除と思者の早期愛見、陽 多大の破骸を 興へつゝ ある 忌し、職時下の人的資源



は十五歳から廿一歳辺の者という。臨路、短椒、投、寒、腹、底類をむけ土成またの者、女子、を考慮した適切な種目で千米連行

れも國民の中国南少年層を対象と、強機定として男、女子共に特殊被

けである「異異=艦力型機定ポス

でから、だからよ、氣にしちや

えよといってあるんだと

もう一度いって見る。派如しね

してゐる。一般及び中等生は各道

定は七、八月中、蓝魔旅定は九月

學、專門、師殿校は 各県校を戦

戦ふ府民の意氣昂場

もういはねえよ。おいら、たゞ 張の横幕に、登はわざと尻込み

廿日の日曜は親子健歩會へ

数の職員を擁する機道、源信、歌

から甘徳までの一般男子と全龍男(て女子にも行派、水泳の特殊被定から甘徳までの一般男子と全龍男(女子にも行派、水泳の特殊被定と二種に分け

検定の合格者には総督府からく歴

一能の名を呼ぶって、おい、皮、

適格者を一人も使れなく概定を終

から始めて十一月までには全鮮の

しきりに呼ぶんだ

ることになってゐる、なほ哺れの

検定合格者に總督章を授與

女中等象校以上の在學生で男子は、を行ひ、拡張模定には女子の問題。

もあつてはと一般の確固たる決威 際品以外に役立たね金、白金に未

とを考へず整理品として徒らに

つて今日ほど銃後害少年の魅力練 作れ立派な體力を



湯ならしめようと、京城府では 府政調査會を改組 **単、謝仁町坦濱次どんた發展生態。この輸道がまざじわが贞大門區の「ど、そこで東大門區の郡人口十四めてゐるが、さて後者である精朗。はかり吹ぎ歌る鮑鳳も明かるい、「かさは郷路のそれに迫つてゐるの」**

カラントのチント最際の質は強く類く南漢山版まで寄する。それは一個展を象徴する感に、この匿の輝

限りなき建設の跫音

卷の區門大東

れてみて人々は驚くであらう。こ。かす護島三角洲標の明確。さうし、様定してあるのだが、から駆けら、株の窓色、合うして原南にみなる

集治してゐるのだが、かう駆けら

京成協議、女子師範等での學校が京成高級、法學専門、普成専門、

連絡の秀麗服々、独にひろがる松

事態間の民衆は黙狂に恐怖く、そ 歌、さうし、衣、

朝

京日案内

| 1.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.50 (2.

(城)館國の母性 國民部力朝鮮關 三〇(城) 戰之女性(韓語)中央 三〇(城) 戰之女性(韓語)中央

性であるからだ、北に郷ゆる北茂をひうさせたかり地域が暴闘に適

しの東大門區には大學豫科を初め

も取て除張ではない、何がこの地一るからである

七區の區勢を視る

[4]

所内。學園の叢林

『原大門區』の建設の雷だ、發展の響だ、洪龍下蹴進の一途をたど

かしい解死は約束されてゐるとい

場の設置とにあると見てよい、こ

大門區は三分のところだ、あと七 ってよからう、しかしまたわが果 れ親この二者はこの區の名物とい

人なる文字(181)中野 實作)

電話間山橋話襲ります

小林商事命會社

一號型(三行)

東電島(5)三〇三番 朝鮮靴途洋洋河 山東東東西県大阪

いやこの方面登展の契機は、前巡

このと言葉に匿観を指いていよく一所政の本格的旅標をとった一つてよからう。

大京場、その京城の『おらが東大門墓』の費力を割らう

里、崇仁町方面こそ『わが東大門

をもつてゐるか――肌ちその漢字

この舗道の中間から敷岩町、新設

の素明らしい質問なのだ。三、四

東大門區の東大門から清が里にか もし人々よ、京城に於いて最も近

騰嗪
開坐してい
ふ
歳を
知らない
で 嫌能の除りにも急速なのにしばし 今日この一角に立つたとき、その

な地帯は随窓

内容を强化して活躍 11、競技テフスに広郷切な晩助年 傳染して競談します 風、重が人物に附着して刺すと

ル天晴れ久保さん。

一場に親り出す

の中で特にライオン、スピード的するやう殿頂に示望したが、 ある患者は直らに従來の屋底を採 選業者を負めて敷料器を使用して.

選案者は部時間更を買ひ渡した、

をが発生しないやうにいたしまっ 変が発生しないやうにいたしまった。 既報ーな盗犯人を見事逮捕した漢

職場生活の實踐は先づ國語常用

保館で國語講習 計稷町の北部隣

ありと近種町の京城府北部隣保館

五、衣物館具は素領または液構的 六、常に肌密の災疚を順行しませ 谷東龍山県長から喰られた1封の行道二四五久保轄首さんは十六日

盗難に現れた白金 ことではありません、防烈階番側

龍山署で供出を各家庭へ飛檄 て高んで國家のお役に立ておべ 捨てよ敵性語 では管内居住の婦女子に對した があり多数参加が希望されてゐる 日から八月卅一日まで婦人國語講 献金 紫町ニノニ玉川

龍山署で用達 を献金客託、なほ弱隻町一三〇ノ 一銭銀貨での他十銭銀貨、一銭銀

々として金や白金製品

では去る十四日午後一度管内の用「蛇に々と歌金客能した」 が上にも燃え立たせてゐるとき、酸らてし止まむ烈火の凝愾心を彌 を関防航金した

業者に示達



ひにくるがに がやあねえ!

うなやつが、張さん、お前の名を 気にしちやあいけねえより 「治前、氣を悪くしなごんなよ。

一瞬、暖三側は、よっと主色に ゆくかどうかして、その正概をは れこそ様を高くして握るわけにもこれなことがあったんぢやあ、そ 行かねえらやあねえか。だから、

古本語學

華やかなる幻想 撃ちてし止まむ

碧

金剛堂書店でもなって見ます

(電量 1055 山田家畜病 (電源 1155 大の病院

日本ニューユ

日本窒素院支社

十二指腸丸

▼ 寄年に米英主席の機像を叫び、國 大東電共衆國が設の光英を換ふ は大東電共衆國が設の光英を換ふ は大東電共衆國が設の光英を換ふ は大東電共衆國が設の光英を換ふ 離京 城 夏

台唐原性病

大地の母と四郷

青春座公演

に常認局が養殖する。極定の養殖・者やは都合で返興・廿日電局激量。切り、ここで、翌子とと婚人へのに常認局が養殖する。極定の養殖・者とは都合で返興・廿日電局激量。 しかっぱ 一世先の寒冷波風暗に登ると時に指定順極として男女共・地形を世界・思子連わと婦人の優か 徳歩で統一世先の寒冷波風暗に登るの名局及び南瀬。羅波剛郷登局・法を十三日楽行のか定であつ之京 田能単終點に集合・こくより集團

側を前にした半原著人の機能力を 子連れ或のは兄弟新奏、婦人が常順を前にした半原著人の機能力を 子連れ或のは兄弟新奏、婦人が常

小迦動會に鍛へ、顧明に樂しむ、り、こくで《親子》と《婦人》の

小西六寫眞工業株式會社

モンペ姿で眠ふ京城府民の紅猟を なほ参加者の男子は脚律、女子は

さくら

印画紙

質倉庫を求む

樂天堂製藥雜會社

甲斐計

医医生精本吉 理事務



館中場

開通 仕の内 り寫修

華かなる幻想 日本ニュース

日本ニュース 等例未更直达音 既即 定 科維佛受相稱本質 結解 立 金金金金金金金 Ŧj

THE STATE OF THE S 製造品

類類 7月 7 月やくといこうりお困り 毒劑 六四門 淋腸 風 劑 井八円 ・標準を名息きながし施を活無冷るゆらあ よれらせ講を確認的意識すて捨る望着の・ 麦

張り切る横綱 たる腰々が爲朝のやうな弓を張っ

「まめ、聞きねえ。はじめは、な

の化物だって、おいらと知って、へどこうぢゃあねえだらうか。そ

郷戸籍課長、山口工營課長の錚々 **始堂總務課長、大原財務課長、大**

変き

「さうだ。 李帆を残したのは、 獅

か。 儲は そいつの野ら きいたん

「いく加波な出路目をいふな」

「たまに會つたお前に、こんなる

くしさうに苦うらし

張はうつろな笑ひ繋をあげて、

(中)

るのだ、その側膜を背負って木の が。には區長に宮野賀氏を初め二 台も新らしい表札の「東大門區役 た、東大門臨よ、何處まで俳展す 1も観情の置は建設の習習たかく かといふ未來が残されてゐる、今

『玉の海』など染抜いた印を明るく往く、『名寮岩』 100 ガレ大阪が街頭の

牛蝎のアンチャンが威嚇の 、壁でと京城場所の初日 で『京城場所はウンとやり 関取の休場はちよつと淋し と、他を殺した奴は、この上海にったんだ。だんだんそばへ近づく にを云ってあるんだか、翔らなか

のも知れねれ、かも知れれえが はくく。最低、お前も年をとつ

文化学休里/提口 华德尔丁顿 時期舊可含成乎金者計量納目終 即其電六四 京麓本义三特音石



オーム・グラフ・ルース

日曜祭日は午町十時半よて十七日より三仕三日で

貸衣裳驟驟

建築修理 文部為是文化崇福 運

日朝 (1) 文 (1) Z (1

シテ月出四二人で覧。 いるテ月出四二人で覧 は三月年リリア新 無超ツ助共公節

2五 加賀 奥福尼文 旧 1四 旧語 前任和 田 明 九文扩展录 新 老代八清店

は深く延伸な

竹田京允

の御屋城相に有機を御下問さへ

は企業整備に大御心を晒れるせ

正面向つて左方の御婦がさつと開

職ののち、敷部器を築り取無して

たい国宝り職職後の問題は然

赤軍の攻撃力低下

獨、痛烈の反撃開始

-ル整回企圖は完然一た、D、N、

速爆魔機線隊は十四日午後はじめ

顕政史上かつて類例を

八十二國時職會開院式は十六日・天林陽下の劉國を仰いで極かに歌「東京常語」影願必続の國内態素を献立すべき東大師命を備びる第 **慢渥なる勅語を賜ふ** らせられ、一旦便殿に入御、御先輩の名皇族殿下に御勤闘ののき 一議會思

立憲之る機態院本曹野海に戦闘、更新部州十つ第る戦略者を領手に たみ木、内ケ耐峻炎戦院計略をに連盟仰付けられば前十一階関院式 たみま、内ケ耐峻炎戦院計略をに連盟仰付けられば前十一階関院式

に第八十二議會の開院式は開りなく聞かに終了。

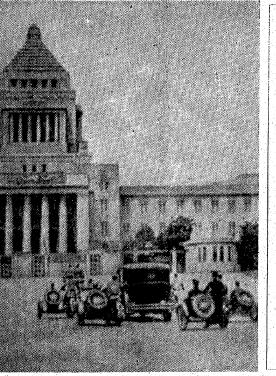
聖慮に報い奉らん

滾々と沸く必勝の決意

額いて佐々不貴族院副職長恭しく御前に整進、物語器を拜受こと

れた

の鍛式自動車場帯にて气前工管理工分宮原御工門、李颜院に行勁あ 一蹴、孤工の時間に属する實際の重大なるを活動し、叛動革命の本館御熊用、甘蘇寺特治次是臨業、松平宮市、東海伊佐政党長以-永幸 一躍勝なる歌語を関り始戦喇院跡員代刊録を御郷示にのたすら初像監書の日 - 天鬼陛下にに昭和師正婁に大動位ならびに功一級嗣章を | 式湯たる貴族院木貴郷湯に郷職、更廉徴用より郷る勲託草を御手に 三提出センム - 柳等克ク股カ意ク體シ和衷審識以テ協費ノ任ヲ竭サムコトヲ望除ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會股ハ臣民ノ忠誠勇武ニ信倚シ速ニ征戦ノ目向ヲ達成セムコトヲ期ス 今ャ時局洵ニ重大ナリ。宜シク億兆一心全力ヲ盡シラ敵國ノ非望ヲ破降スヘシ大東亜ノ建設日ヲ逐ヒテ進ミ友邦トノ繙盟ハ益、固キヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ朕カ外征ノ師ハ萬嫌ヲ排シラ隆處ニ勇戦奮闘愈に其ノ威武ヲ發揚セリ 而シテ 除茲二帝國議會開院ノ式ラ行と貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 「展京電話」第八十一道緊縮資か、階に助立する開設職員、正面竣上」は前期送に大鵬値ならびに近一線、おれる赤子いかで議定に於ける電話。アソツ級班士の出、武量通過などがづれも動像の義に「松平全局側行車上庁士像等神後大」のうちには「個を設定と終ける電話。アソツ級班士の出、武量通過などがづれも動像の義に「松平全局側行車上庁士像等神後大」のうちには「個を設定となりなる。 時職會に埋ぐも - 「東條節相以下を耽僻の数が大団席」各集接触下魔能緩吐されて出御、を強切ってける十六日第八十二國 の節が聞くと睡殿で揺職を移へた。御築は、高松舎後下をはじめ奉り



源なる射散を眺つて激然頭を睡

常顔を理し類り更に親しく

民は一敗と大東亜威必厥治威の一後に至り象々激化、獨軍はムツニ

は反應を開始、版車、飛行機を織

レフ開地區を結ぶ六十五キロの戦

他方クパン精明像知路のから選挙師 | 地を徹底的に破壊した | 四日早時機列な砲撃ののら選挙師 | セマイコープを指揮・ノ戦が策勝

目同国] 総統大

天皇陛下、開院式に行幸あらせらる(議事堂正面にて羅寫=離常送)

決戦半島の眞姿際騰

Ξ

徹底して行くと思ふ、離落も見

るんに数へて行く。一日一階運動 | 校に入れるといふのは祖常稳度以 非常に感心し之例がある 行って賦むされ、私も見に行うこ はない。といい頭腕で、一條女を一得ると、徹底的によくなって來る一 鹽田氏

だから大部分の魔衬婦人といふも | 居る、非常に男勝りで蜿成を受け 護海道にある機場ですが、そこ 中國人物として二十億位の婦人が

院に行って男と一緒に銃成を受け

鹽田農林局長、総脳問題 の若い女が加はつては困るといふ

今、二人とも部落で姚人指導をし ふ法はない(実際)といふわけだれる方の女が内地に行けないとい

する方の男が内別に行って暗惑さ たり かって持ったういふことを再解語で訊いてみ ちを廻って持ったういふことを再解語で訊いてみ ちを廻って持ったういふことを再解語で訊いてみ まだ始めてか と、立派に國語で答へることがあ てくれないかといって通識させる

錬成の中心は國語 熊としては 密年特別 鉄成を 通じて のもの化なるのではないか、今朝

である、そこまで行かなければ實 にある、そこまで行かないかと思ふ

指導者にその人を得よ

も指摘は協能化することにある

朝鮮の錬成の中心は國語教育とい 森田內務省委員

殖產局長

てゐるといふことは一番いゝこと

鬱

内殿一艦とい 國語教育が根 いることも結局

企 磷 苯 局 長

向うに反映させるためには、やは し思ふ、こつちの心を本當に ||出席者||

んな立派な歌音を建てたものだと

【ロード・元日同盟】伊原司令部

祖間の險保兵後

場に行って、「今日の置敵エ列を一のもの化なるのではないか、今時一いと敬辱しないたらうと思ふ 一國郡だけ、相手は朝鮮郡だけしか「は國郡が帰るのどなと思うて城事一分なら一年間不自侵職を允は相告」く、私共の戦戦指導でもさうしな。 数目だ、今までのやうにとうもは「いらうしゃいませんだい。これ」と戦闘するとで派に答べる。この「ひて國郡でやうて行けは處えて行一にしても利手の戦を概実なが礼は「いらうしゃいませんだい。これ」と戦闘するとで派に答べる。この「ひて國郡でやうて行けは處えて行一にしても利手の戦を概実なが礼は「

の情を振っといふことが総で何の

西端で英軍爆魔機一台を

【ペルリン十五日同盟】東部脱級 サラトフ空襲

-四日夜もボルガ河中流沿岸の要

消

四日夜周位。 芝部紀緒銀科)辞二前出駅中 芝田本友太記氏(粉網施制食期 (朝金縣會長)十二

國 の投輿が効果的。 新正に、エピオス

國民貯蓄の必成に御協力なされる皆様方の御後援によ に國防 家庭に保険 國民貯蓄は保険から

國民貯蓄増强のため基礎磐石の弊社の御利用を切にお り弊社の業績は倍々鱪進し最近では 保險契約總額 一ケ月契約増加 約十一億團七十五億餘團

る開願政形所院散報につき關密管・リ動物的新師度のもとに関勢を開日本部密東京所駿原政策と配應す「郷じて制定、内指では七月一日よ 新朝取八 革案原案通り決定 八月に 開 って『新漢統師法院務』を決定十 関する総則法規定る『顕紀統則』

> 東部建設に適同する決定を接感し が年に投降國府随營に参加して大

馬。

專門藥

日本原本 使为强化 一种类 使外回復

れるとになってゐる 取引額別について適宜若廣が沸は なり、身許保险金、

敵營長投降

のでこのほど時代した、敵衛神でなほぎではほな原数道り折戦が言とまった。開所する

であつた厳密形江理駅。始すが、朝鮮に於いては八月中に

でもなく、トルコ政府としてはあ

一、反復軸軍はカステル、 概し、うち一隻を鑑沈

機を展覧したが、福軸軍は職職

はトルコ政府の招談に基いたもの

第三に同一一時十五分騰寒災後御。 天巻鹿レく症我に選挙あらせら | を指名してこれに附記、同委員會 | 極るがし、朗々にして拜された。 の決定を待つため同十一時四十二 審議の効率化

のうちに民一個を結集し競火と滞 衆議院本會議 影 らびに各理事塗集、砂質案前に各 【東京電話】衆議院では十六日午 方針を協議

ニュー氏ならびにサラジョル

蚊よけ・カユミ止

武・田宮とは民子とした。神島(鬼が院まつた、やがてゆるやかに)繁領和に難んで御前に急遽、最極、条職員の産業を茂峻して遊ど趣員天真陛下の悲嘆を仰ぎ奉つて飲」に現は形だ、武場は一敗と繁長の「中央王蛇に遺御めらせられた、東「睫は大真亜腹浣鯵が信気に繰ゆる。 出席して午前十一得四十分開會、

路賃最破職の狸に、天皇陛下に一なる物語を賜ふ玉雪は森辰の気を「に開し語り職長より十八名の委員」

性格を希びてあるので宣傳に踏起

権を環境、推議施設に扣害を現 【ローマ十四日同盟】 喧嘩では去 以降十三日までの一週間に以降十三日までの一週間に

ドイツ本土上雰四十 たる際既被数、地中

よる酸階級數、地中

、整胚層光复数、地中海水辺で 大西洋酸源四十機能六十九複 空十四層、ドイツ本土上室及び

島を再度强襲

ピタミンB不足に便秘、下痢など… 趣凶する諸症狀の **総不振、消化不良** …に多酸する食 擊墜百七十三機

樞軸軍一週間の戦果

たもの不確信一隻、地中海水均たもの不確信一隻、地中海水均で1人名リー空田により担害を被つた。 整挺招字隻數 助中海水段で

令の一部修正を被表し、十八年

救 凾 次(街) 怪折, 5つみ、くじ、 ・ 等足腹痛、腹節炎、頭 ・ 等足腹痛、腹節炎、頭 ・ 今用 途 が 翼い ・ 令用 途 が 翼い ・ 令間 網 が 低 偃 運

杜 鲁 名 母 木 大 田神京東

このミンを係日一味つつ鼠敷師にのめば、「菱菱(野オドラミ)となる前がにしたのである。

| 一覧機||機を解除した

新協立締結

部落民蓮は明夕館を合は

半島の子

けふの市況

製 式株

た易数、美術、新聞、雑誌、映習場には今次報道漢密に関係し

藥草の增産へ少國民動員

半島蒼生日用薬の原料採取

1日の海の記念日を期して表っるため船員に對しては來るも

新利紹介旨

馬 十二時開演 1歳のシャバ島 紀出 1歳のシャバ島 紀出 京城寳塚劇場 城寶 管 被樂州演奏 城寶 管 被樂州演奏 爾 冊…·佐縣 事 際 爾…·佐縣 事 東北 東 4-1版 東北の東 4-1版 頭が 関係の 関係を 関係の 関係を 書夜連續三回論

陳々への知識態が盛んであるとい の正しい道をこの1額の道を信じ 眠や戦チれば戦場の観々には縁風が行し合つ心感が盛んであるとい の正しい道をこの1額の道を信じ ほよめやうもなく进り出る、ふというしんで 反省し合つてゐる、つまりは《吳、長朝的指導名達の繫と力で思

大童で改善に着手 総督さんの警告に關係者恐縮

ゆつり切つてしまふーかう

し早く出て欲しい」といへは、

報道演習

横綱ら神宮参拜 大相撲力士團けさ入城 船員にも授東 民間航空職員

無紋付に絽の箱水際立つた大番に一

【ブエノスアイレス十五日问题】 七十三億突破 米五月の戦費

関民登録臨極指導を行って「原北 異狀を生じて來たので慶北道では「能者の異動に伴うて登殿面に一部」

【大印】・頭民登録はすでに質順 國民登錄指導

〇〇司令 おい〇〇長間

海洋少年團結成

笑止一敵の奇襲戦法

[1]

しもいふべき波散波圏なのである、しから

〇〇飛曹 あの時は自分は

ド製造係では海洋。 年間 の子を練成するため、

一番艦を狙つたのですが分隊長の

國石 (六月號)

はこちらで陳分やつつけてあるの

佛教親善使節

【東京斑話】佛教を通じて日楽戦

盛上る半島の愛國心 武官府へ寄せる献金怒。 件で六萬八十七ヨヨ・・・

軍物酸以来極めて困難なる再

完議 西 じゅど *************** 初明 范原下さい。 か あの山越えて が の山越えて ではまて ではまて

後

國志

த்றத்_ட 【171

强 保

實物一變らず

其待の

總督府刑務官練習所

志願方法 人看守募集 中京中·圣元 其他《書史聖祭 本 作 問 猪印のみとり粉本舗

二的金黄城京,景引取的一取朝

城稅

存して、

だが、一に裏面

*